



茨城高等学校・中学校 創立100周年記念募金

令和9年(2027年)に創立100周年を迎えます

ご挨拶

茨城高等学校・茨城中学校は、昭和2年(1927年)に飯村丈三郎先生により創設され、令和9年(2027年)に創立100周年を迎えます。本校は建学の精神「報恩感謝」に基づき、社会報恩の念に厚い真のリーダーの育成を教育目標として、全国で活躍する有為な人材を多数輩出して参りました。これもひとえに皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、創立100周年を迎えるにあたり、昨年から周年事業計画の策定をすすめておりますが、特に、この事業の柱と位置づけられる学習支援センター(仮称)につきましては、丈三郎先生の関連資料の展示室や同窓会で使用できる会議室を設置するほか、学習支援設備として最新AIを活用した「atama+(アタマプラス)」を導入する予定です。この「atama+」は、全国で予備学校・塾を展開している駿台教育センター株式会社との連携で

実現した、最先端のデジタル教材になります。

こうした周年事業を実現するため、昨年11月より創立100周年記念募金を開設いたしました。皆様のご理解、ご支援によりまして、令和6年4月30日時点で72,823,000円の募金を賜ることができました。深く感謝申し上げます。

皆様からの募金は「学習支援センター(仮称)」建設や「atama+」運用のほか、教育施設の整備・拡充、記念式典や記念シンポジウム等、様々な周年事業のために活用させていただく予定ですが、そのための目標金額は3億円に設定しております。

つきましては、ここに募金第2期として、改めて皆様にご寄附のお願いをさせていただきますので、周年事業の趣旨をご理解いただきまして、格段のご協力とご支援とを賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

令和6年6月吉日

創立100周年 記念事業の実現

1)新しい教育を創出する学習支援センター(仮称)の新築

—AI技術を活用したデジタル教材によるパーソナライズ・ラーニング・システムの導入等—

2)グローバル教育・探究活動・ICT教育の推進

3)教育施設の整備・拡充

4)各種周年記念事業(記念式典、シンポジウム、記念誌・会報の発刊)

◆◆◆ 募金報告(令和6年4月30日時点) ◆◆◆

件数	515件	金額	72,823,000円
----	------	----	-------------



学校法人茨城 理事長
寺門 祐児



茨城高等学校・中学校 校長
梶 克治



茨城高校同窓会長
大津 順一郎



茨城中学同窓会長
佐々木 幸一



PTA会長
安 隆之



蒼穹会会長
後藤 直樹

茨城高等学校・中学校の100年

- 1927(昭和2年) 飯村丈翁私財10余万円を寄付し 財団法人茨城中学校を設立
- 1937(昭和12年) 茨城中学校創立10周年記念式典
- 1948(昭和23年) 茨城中学校を茨城高等学校と改称、茨城中学校を併設する
- 1957(昭和32年) 創立30周年記念式典
- 1966(昭和41年) 中高一貫Aコースがスタート
- 1972(昭和47年) 高校制服自由化
- 1977(昭和52年) 創立50周年記念式典
- 1987(昭和62年) 創立60周年記念式典挙行
- 1995(平成7年) 男女共学中高一貫制度を導入
- 1997(平成9年) 創立70周年記念式典
- 2003(平成15年) 「飯村丈三郎先生生誕150周年記念」講演会・シンポジウム
- 2007(平成19年) 創立80周年記念式典
- 2011(平成23年) 新校舎(A棟、C棟)完成
- 2017(平成29年) 創立90周年記念行事
- 2019(平成31年) 医学コース設置
- 2020(令和2年) 国際教養コース設置
水戸医療センターと連携協定
カリフォルニア大学デービス校
国際教育センターと連携協定
- 2022(令和4年) 国際医療福祉大学と連携協定



飯村丈三郎先生



昭和5年 茨城中学校全景



平成7年 男女共学中高一貫制度を導入



平成9年 新校舎・7号館完成



令和2年 水戸医療センターと連携協定



カリフォルニア大学デービス校
国際教育センターと連携協定



令和4年 国際医療福祉大学と連携協定



昭和4年 当時の教師陣



昭和25年 茨城中学校・茨城高等学校正門



平成23年 新校舎(A棟・C棟)完成

学習支援センター（仮称）新築について

建築物用途

- ・飯村丈三郎先生の各種記念となる資料の展示や保管
- ・生徒の学力向上を目的とする教育活動の実施、学び直しの機会提供等の学習支援
- ・同窓会、PTA、後援会（蒼穹会）の活動を支援する場の提供

建築物構造

- ・木造二階建



駿台 | atama+ スタディーホールをスタートします

2024年度から、全国で予備学校・塾を展開している駿台とタッグを組み、atama+（アタマプラス）スタディーホールを立ち上げます。

- ・最新のAI(人工知能)技術を活用した、個々に合わせて苦手克服が可能なデジタル教材atama+（アタマプラス）や、全国の指導者と瞬時にマッチングして指導を受けられる質問システムmanabo（マナボ）などをフル活用した最先端の学び
- ・駿台の進路アドバイザーとクラスリーダー（医大生中心）による個別面談、学習アドバイス、定期的な入試情報の提供なども実施
- ・学校生活や自分の時間も大事にしながら、勉強を頑張りたい生徒を応援！



【atama+とは】詳しくはホームページをご覧ください▶
<https://www.ibaraki-jsh.ed.jp/atamaplus>



募金の名称 茨城高等学校・中学校 創立100周年記念募金

募金の目的 創立100周年記念事業の実現
1) 新しい教育を創出する学習支援センター（仮称）の新築—AI技術を活用したデジタル教材によるパーソナライズ・ラーニング・システムの導入等—
2) グローバル教育・探究活動・ICT教育の推進
3) 教育施設の整備・拡充
4) 各種周年記念事業（記念式典、シンポジウム、記念誌・会報の発刊）

募金目標額 3億円（上記目的の実現のために必要な金額です。）

募金の期間 令和5年（2023年）11月1日～令和10年（2028年）3月31日
※同窓会会員には募金案内を毎年配布いたします。
令和5年：11月 令和6年～令和9年：6月頃（予定）

募金の金額 個人／1口5千円（2口以上をお願いいたします。）
法人・団体／特に定めておりません。

申込方法



1) 個人の皆様

①銀行・郵便局でのお振込

同窓会会員には払込依頼書をお送りします。
※一般の方は募金申込書をホームページよりダウンロードして本校にご提出ください。必要書類をお送りします。
https://www.ibaraki-jsh.ed.jp/wp-content/uploads/2023/11/100bokin_kojin.pdf



②クレジットでのお振込

下記にアクセスしてお申し込みください。
<https://salat.club/fee/ibaraki/>
※ご利用には会員番号が必要です。
※一般の方は上記募金申込書をご提出後にご利用ください。



2) 法人・団体の皆様

募金申込書を下記ホームページよりダウンロードして本校にご提出ください。必要書類をお送りいたします。
https://www.ibaraki-jsh.ed.jp/wp-content/uploads/2023/11/100bokin_dantai.pdf



顕彰

募金累計額が15万円以上の個人・50万円以上の法人・25万円以上の団体の方々には寄附者銘板を作成し、新築の学習支援センター内にご芳名を残します。
また、寄附者全員の芳名録を作成し、学校のホームページに掲載いたします。

記念品

毎年1万円以上の寄附者には100周年記念小冊子（全5巻）を贈呈いたします。
※小冊子の内容は毎年変わります。
※累計5万円以上の寄附者には全巻贈呈いたします。
第1巻 丈翁の生い立ち
第2巻 丈翁と芸術界
第3巻 丈翁と実業界
第4巻 丈翁と政界
第5巻 丈翁と教育界（全巻の索引付き）



第1回配本 第1巻表紙
（高校3年・佐藤凜さん制作）

領収書

翌年1月中旬に発送予定です。
（ご入金時期によっては上記日程に間に合わない可能性があります。）
※記念品と一緒に発送いたします。

減免措置

「領収書」(法人の場合は「領収書」と「特定公益増進法人であることの証明書」(写))を添え、当該年度の確定申告の手続きをお取りください。

1) 個人の場合

1) 所得控除 寄附金の額 - 2千円 = 寄附金控除額

2) 住民税控除 県民税(茨城県): (寄附金の額 - 2千円) × 6% = 寄附金控除

※茨城県以外につきましてはお住いの都道府県にお問い合わせください。

市民税(水戸市): (寄附金の額 - 2千円) × 4% = 寄附金控除

※県内の水戸市以外につきましては茨城県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/zeimu/kikaku/faq/siteikifukin/documents/shichoson2024.pdf>



2) 法人の場合

特定公益増進法人に対する寄附金の損金算入限度額

(資本金 × 0.375% + 当該年度所得 × 6.25%) × 1/2

上記を超えた分は一般寄附金として損金算入できます。

(資本金 × 0.25% + 当該年度所得 × 2.5%) × 1/4

個人情報取扱 ご寄附により取得した個人情報は本募金に関する業務にのみ利用させていただき、守秘義務を厳守いたします。

募金委員会 委員一覧

委員は下記のとおりです。ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

募金委員会 委員長 佐々木 幸一 副委員長 関口 哲也、小野瀬 剛、高輪 忍、三宅 修、加藤 雅之、岡崎 謙一

茨城高等学校・中学校創立100周年記念事業 募金委員会 名簿

学校及び学校関係者・卒業生

寺門 祐児 (高27回卒) 理事長	種田 誠 (中14回卒) 前理事長	鬼形 正人 理事・前校長	梶 克治 (高35回卒) 校長	岡崎 謙一 元副校長
大津 順一郎 (高22回卒) 高校同窓会会長	佐々木 幸一 (高26回卒) 中学同窓会会長	安 隆之 (高校43回卒) PTA会長	鴨志田 剛 (高44回卒) PTA副会長	大村 真理子 PTA副会長
紺谷 智則 (高38回卒) 前PTA会長	作山 元子 前PTA副会長	後藤 直樹 蒼穹会会長	山口 勝己 (高35回卒) 蒼穹会副会長	小田部 卓 茨城新聞社 相談役
瀬尾 文洋 (高18回卒) 瀬尾医院 院長	浅川 清司 (高23回卒) 浅川建設(株) 代表取締役会長	照沼 毅 (高24回卒) (株)照沼商事 常務執行役員	岩下 亮 (高校24回卒) 岩下亮税理士事務所 税理士	関口 哲也 (高27回卒) 水戸信用金庫 元役員
原 毅 (高28回卒) 原外科医院 院長	岡崎 正光 (高30回卒) (株)カドヤカンパニー 代表取締役社長	小野瀬 剛 (高31回卒) 小野瀬剛税理士事務所 税理士	村田 智明 (高32回卒) 村田歯科医院 院長	細田 弥太郎 (高33回卒) クリニック健康の杜 院長
高輪 忍 (高36回卒) 常陽銀行 取締役	小宅 雄一郎 (高41回卒) 勝田整形外科医院 院長	長谷川 宗広 (高48回卒) 三勇建設(株) 代表取締役	大山 壮郎 (高48回卒) (株)吉田屋 代表取締役社長	中本 邦彦 (中20回卒) NK観光(株) 代表取締役
谷萩 陽一 (中25回卒) 水戸翔合同法律事務所 弁護士	橘川 栄作 (中30回卒) 茨城県 営業戦略統括官	幡谷 史朗 (中31回卒) 茨城トヨタ(株) 代表取締役社長	加藤 雅之 (中33回卒) 和泉監査法人 公認会計士	

地域・職域同窓会

寺内 拓男 (高21回卒) 茨城町支部 会長	石田 富歳 (高20回卒) 茨城町支部 副会長	雨谷 義雄 (高23回卒) 茨城町支部 副会長	根本 芳邑 (高12回卒) 茨高野球部OB会 会長	小林 一裕 (高31回卒) 茨高野球部OB会 副会長
磯崎 満 (高21回卒) 湊いばら会 会長	中村 澄夫 (高16回卒) 那珂支部 幹事	三宅 修 (高37回卒) 水戸市役所茨高会 会長	相沢 秀幸 (高46回卒) 水戸市役所茨高会 幹事	

※令和6年6月1日現在 ※各地域・職域同窓会に随時依頼する等今後も増員予定

お問い合わせ先

学校法人茨城 法人事務局

〒310-0065 茨城県水戸市八幡町16-1 Tel.029-221-4936 Fax.029-221-4923
<https://www.ibaraki-jsh.ed.jp/about/anniversary>

岡崎(募金委員会副委員長) Email:k.okazaki@ibaraki-jsh.ed.jp
宇野(法人職員) Email:d.uno@ibaraki-jsh.ed.jp

100周年記念サイト▶



2027年に創立100周年を
迎えます